

## 北野 悦之 議員



### 九州電力第1発電所、送水 隧道流水事故について

**A** 総務課長

11月24日に九州電力より正式にお詫びとして来村いただいたが、安全管理の意識向上というような事については新聞報道のみであった。現在調査中ということで、特に説明は無かったので、この傾斜地域の安全対策については書面での説明をと考えている。

### 請願 立野区の山林荒廃に係る防 災対策、早期計画策定について

**A** 総務課長

総務課からは年1回の防災計画に基づき指定しているところである。その中で人的な災害も自然災害にみなして計画を立てていきたいと考えている。

## 今村 六王 議員



### 農道整備と湧水処理事業に ついて

**Q**

農道整備事業と湧水処理事業の進捗状況と支出済額について、また、今後の計画について尋ねたい。

**A** 農政課長

支出済額は総額506万円で、その内訳は用排水路整備事業として370万円、今後支出予定額は530万円、湧水処理事業については、支出済額が136万円、今後の支出予定額は634万円である。今後の計画については、農作物への影響が特に大きいと考えられる耕種、いわゆる用排水を優先し支援を行う方針にかわりはない。

**A** 村長

限られた予算の中で全体的なことをやっていくわけなので、出来る限りの努力はするが我慢してもらうところもあると思う。

### 観光と農林業の振興対策に ついて

**Q**

観光客の入り込み数と宿泊客数の推移について。

**A** 企画観光課長

平成20年の観光客総数は640万5000人、対前年比で13・3%減である。その内訳は、日帰り客数が13・7%減、宿泊客数は8・1%減となっている。

**Q**

減退している農林業・観光客の誘致を今後どのように立て直しているのかと考えているのか。

**A** 農政課長

農業立て直しのために、地産地消を進めている。また都市と農村の交流を進める取り組みも必要であると考えている。林業については現在間伐対策関係で森林組合に委託しているが行政も一緒になって問題に取り組む必要があると考えている。

**Q**

地場産業の育成を、更に積極的に進める方策を持っているのか。

**A** 村長

農作物のブランド化をしっかりと図っていき、どこにも負けないような安心・安全な物を作っていけば、自ずと道は開けてくると考える。